

なんま
南摩ダム定礎式を開催します
おもいがわ
(思川開発事業：南摩ダム)

思川開発事業は、独立行政法人水資源機構が栃木県鹿沼市^{かぬまし}で実施する洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を行うことを目的とした事業です。

このたび、思川開発事業において建設中の南摩ダム本体の本格的な盛立にあたり、ダムの永久堅固と安泰を祈願する定礎式を別紙1のとおり行うこととしましたので、お知らせいたします。

日時：令和4年3月12日（土） 10時～12時予定（雨天決行）

場所：栃木県鹿沼市上南摩町地内 南摩ダム ダムサイト（別紙4参照）

取材をご希望の報道機関の方は、事前に別紙7「取材申込書」を提出していただき、当日は9時30分までに式典会場にお越しください。



令和4年3月7日
独立行政法人水資源機構
思川開発建設所

発表記者クラブ

栃木県政記者クラブ
鹿沼市政記者クラブ
水資源記者クラブ
竹芝記者クラブ

問い合わせ先

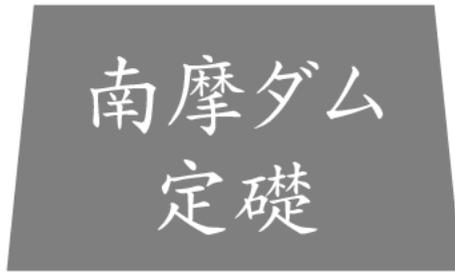
独立行政法人水資源機構 思川開発建設所 総務課長 ^{こみや}小宮
住所：栃木県鹿沼市口栗野839-2番地
電話：0289(85)1110(代表)

南摩ダム定礎式

- 1 日時：令和4年3月12日（土）10時～12時予定（雨天決行）
- 2 場所：栃木県鹿沼市上南摩町地内 南摩ダム ダムサイト
- 3 主催：独立行政法人水資源機構
- 4 次第
 - I 式典
 - ①開式の辞
 - ②主催者挨拶
 - ③事業経過報告
 - ④来賓挨拶
 - ⑤来賓紹介
 - II 定礎行事
 - ①礎石搬入
 - ②鎮定（ちんてい）の儀（礎石の四隅に盛立材料を入れ鎮め定める）
 - ③齋饅（いみごて）の儀（入れられた盛立材料を清められた饅で敷き均す）
 - ④齋槌（いみつち）の儀（礎石の四隅を締め固める）
 - ⑤埋納（まいのう）の儀（礎石を埋め納める）
 - ⑥万歳三唱・くす玉開披
 - ⑦閉式の辞
- 5 主な出席予定者
衆議院議員、参議院議員、国土交通省
栃木県知事、栃木県議会議長ほか関係都県
鹿沼市長、鹿沼市議会議長ほか関係市町
移転者代表など約80名の方々

定礎行事の流れ(参考:他ダムの例)

(1) 礎石搬入



礎石(イメージ)



礎石運搬隊



① 礎石搬入

(2) 鎮定、齋饅、齋槌



② 鎮定(ちんてい)の儀

搬入された礎石を固めるため、盛立材料を礎石の基礎に置くもの。工事を進める道をつけるという意味がある。



③ 齋饅(いみごて)の儀

鎮定の儀により礎石の周りに置かれた盛立材料を饅(こて)で均すもの。鎮定の儀によりつけられた道を均すという意味がある。



④ 齋槌(いみつち)の儀

木槌で礎石を叩いてしっかりと納めるもの。鎮定の儀でつけられ、齋饅の儀で均された道をさらに強固なものにするという意味がある。

(3) 埋納



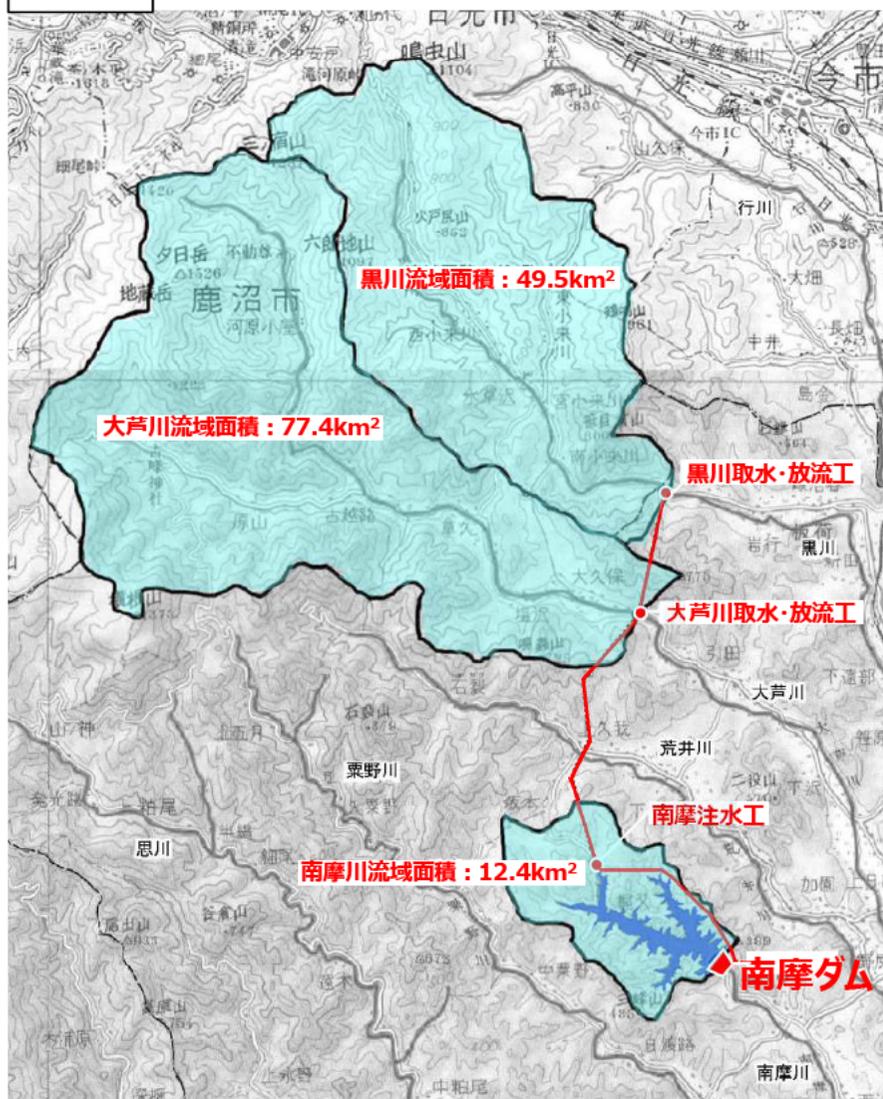
⑤ 埋納(まいのう)の儀

(4) 万歳三唱・くす玉開披



⑥ 万歳三唱・くす玉開披

流域図



○場所

かぬま なんま とねがわ なんまがわ
栃木県鹿沼市（南摩ダム：利根川水系南摩川）

○目的

洪水調節（思川、利根川の洪水防御）
流水の正常な機能の維持
（異常渇水時の緊急水の補給を含む）
水道用水の供給（最大2.984m³/s）
（供給先：栃木県、鹿沼市、小山市、古河市、五霞町、
埼玉県、北千葉広域水道企業団）

○諸元

（南摩ダム） コンクリート表面遮水壁型ロックフィルダム（CFRD）
堤高86.5m、堤頂長359m、
総貯水容量5,100万m³
（導水施設） 黒川導水路 延長約3km 最大通水量8m³/s
大芦川導水路 延長約6km 最大通水量20m³/s

○工期 昭和44年度～令和6年度

○今年度の実施工事

本體工事
導水施設工事
付替道路工事 等

南摩ダム完成予想図



南摩ダム定礎式 会場案内図



【カーナビをご利用の場合】

- ①目的地を「上南摩小学校」に設定。
↓
- ②上南摩小学校の手前約500mにある交差点を左折せずに「直進」する。
↓
- ③約1.5km先の杓子沢トンネルを抜け、約400m進むと定礎式会場入口。
↓
- ④定礎式会場入口の係員の案内に従い、会場にお進みください。

【Googleマップをご利用の場合】

- ①「南摩ダムサイト左岸展望広場」を検索。
↓
- ②「南摩ダムサイト左岸展望広場」の先、約100m進むと定礎式会場入口。
↓
- ③定礎式会場入口の係員の案内に従い、会場にお進みください。

定礎式会場入口より係員の指示にしたがって会場へお進みください。
駐車位置は、会場内の係員がご案内いたします。

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスの感染防止のため、水資源機構では、厚生労働省等の政府機関、地方公共団体等から情報を入手するとともに、以下の対策を講じてまいります。

参加される皆様におかれましても、感染対策に努めていただきますよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、今後の感染拡大の状況によりましては、開催方法の変更や式典を中止等させていただく場合もございますので、予めご承知おきいただきますよう、よろしくをお願いいたします。

●水資源機構側

- ①検温の実施・マスクの着用
- ②手指消毒の実施
- ③飛沫防止アクリルパネル等の設置
- ④密集しないよう十分な距離の確保
- ⑤アナウンスによる参加者同士のソーシャルディスタンス確保の呼びかけ
- ⑥テント内の定期的な換気

●参加者側

- ①37.5度以上の発熱、咳、喉の痛みや違和感などの症状がある場合は、参加をご遠慮願います。
- ②式典会場に入る際は、検温・手指消毒にご協力願います。
- ③飛沫対策としてマスクの着用をお願いいたします。
- ④参加者間のソーシャルディスタンスを十分に確保し、密集・密接をお控えいただくようお願いいたします。

南摩ダム定礎式取材時のお願い

- 1 取材のお申し込みは、別紙7「南摩ダム定礎式 取材申込書」にご記入いただき、独立行政法人水資源機構思川開発建設所あてにメール又はFAXにて提出願います。
- 2 お申し込みいただきました報道機関には、メール又はFAXにて当日の会場内への出入りに必要な「駐車証」を送らせていただきます。式典会場にお越しの際には、「駐車証」を車のダッシュボード上に置いていただきますようお願いいたします。
- 3 来賓の方々など多数出席されますので、取材時の服装についてはご配慮願います。また、取材いただく際には、お持ちの腕章等の着用をお願いいたします。
- 4 会場内でのドローン（無人飛行機）の使用は、ご遠慮願います。
- 5 取材当日、37.5度以上の発熱、咳、喉の痛みや違和感などの症状がある場合は、取材をご遠慮願います。
- 6 取材前の検温・手指消毒と取材中のマスク着用にご協力願います。

南摩ダム定礎式 取材申込書

取材の申込みについて、下記事項を必ずご記入いただき、3月9日（水）17時まで
に、メール又はFAXにて提出願います。

1 報道機関名 _____

2 取材記者名 _____

3 同行者名 _____

4 当日の車両 車 種 : _____

ナンバー : _____

5 駐車証の送付先（メールアドレス又はFAX番号）

6 当日の緊急連絡先（携帯番号） ※当日に連絡が取れる番号をご記入願います。

※ 密を避けるため、各社最小限の人数でお願いします。

※ 申込書に記載されている情報は、本目的以外には使用しません。

お申し込み先

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所 総務課行き

FAX : 0289 (85) 1211

メールアドレス : omoigawa@bc9.jp